

平成 30年度 看護部年間研修計画

今市病院看護部教育委員会

教育目標： 基本的知識・技術・態度を身につけ、安心で安全な質の高い看護ができる		研修担当機関 (A)看護協会 (B)県西地区 (C)その他												
対象	目標	行動目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全職員	自己啓発を促進し人間性を高める	・関係部門との交流を図り、協力関係を維持できる ・研修を通し職員としての自覚を持ち医療従事者としての知識・技術を身につける ・心身のリフレッシュを図り、健康管理ができる	医療安全 (医薬品安全管理) 接客教育	情報管理 感染防止	医療安全 感染防止	救急看護 BLS AED 認知症サポーター育成研修			医療安全	感染防止	認知症看護	情報管理	医療安全	接客研修
看護部	病院看護部の理念を知り、安全な業務を実践するための正しい知識・技術を習得する	・医療従事者として自覚と責任ある行動ができ、看護実践に必要な知識・技術を身につけ、看護が実践できる ・心身のリフレッシュを図り、健康管理ができる	医療安全① 看護必要度 褥瘡防止 認知症サポーター育成研修	看護の日 医療安全② 機器管理 コミ研(C) 看護必要度ステップアップ研修 感染防止対策	医療安全③ 看護記録① コミ研(C) 褥瘡防止 看護必要度評価者院内研修	禁煙サポート(A) 看護研究実践(A) スキンケア(B) 看護必要度評価者院内研修	行動変容(A) 看護記録② 医療安全と事故防止(A) 褥瘡防止 介護研修(C) 看取りの看護(A)	看護研究基礎(A) 機器管理 メンタルヘルスケア(B) コミ研(C) クレーム対応(A)	看護必要度 看護記録③ 認知症看護(A) WLB(A) 国会見学(C)	医療安全(B) コミ研(C) 介護研修(C) 在宅ターミナルケア(A)	合同看護研究発表 フィジカルアセスメント(B) 糖尿病看護(A) NSTリンクナース(A) 手術看護(A) 認知症看護(A)	緩和ケア(B) 認知症看護(B) コミ研(C) リフレッシュ研修 精神看護(A)	WLB(A) 褥瘡防止 介護研修(C) 透析看護(A)	機器管理 看護記録④ コミ研(C)
看護部専門分野	専門的知識・技術を持ち実践することができる	・専門的領域における知識・技術を身につけ、他者に指導ができる		セカンドレベル教育 実習指導者講習会(県) 看護職員実務研修(A) 褥瘡防止	訪問看護師養成講習会(県) 褥瘡リンクナース研修 看護必要度評価者指導者院外研修 認知症看護(A) 訪問看護師養成講習会	医療安全管理者(A) コミュニケーション術(A) 准看護師ステップアップ 禁煙支援者研修(A)	教育担当者研修 ALS患者等在宅療養支援研修(県) 医療安全管理者継続教育(A) 看護過程(A) 災害看護(A)	実地指導者研修	中堅看護職に必要なリーダーシップ 人材育成 医療安全と事故防止 在宅支援の在り方	栃木看護学会学術集会 急変時の看護 退院支援(A)	災害支援ナース育成(A)	在宅ターミナルケア研修(県)		
看護補助者	急性期看護補助としての役割を理解し、メンバーシップがとれる	・専門的領域(急性期病院)における看護補助者としての知識・技術を身につける ・コストを意識した行動がとれる	排泄介助 口腔ケア 事故防止 移乗・移送 車椅子点検 トロミ食	感染防止 清潔・不潔 新人交流会(C) コミ研(C)	事故防止 抑制帯使用方法 転倒防止	排泄について オムツ使用方法 スキンケア(B) コミ研(C)	食事介助 トロミ食 介護研修(C)	救急看護 救急時の助手の役割と対応 メンタルヘルスケア(B) コミ研(C)	褥瘡防止 体位変換時の援助方法	感染防止 標準予防策 コミ研(C) 介護研修(C)	ハーバード浴 保清・事故防止 介助法 清掃法	環境整備 病室内の清掃手順 清潔・不潔 認知症看護(B) コミ研(C)	機器取り扱い 自動おしぼり機を使った保清 介護研修(C)	ベッドメイキング 助手マニュアル見直し コミ研(C)
新人看護職員	病院組織の概要・看護部の理念が理解できる 基本的な看護の知識や技術を身につけ、安全な看護ができる メンバーとしての自分の役割が理解できる	・院内のシステムや規則を理解する ・基本的な接客マナーに沿ったあいさつ、言葉使いができる ・報告・連絡・相談が実践できる ・院内・院外の研修に参加し、学びを日々の実践に生かせる	新人教育 計画に準ずる (別紙参照)	看護大会(A) 夜勤オリエンテーション	専門職としての第1歩(A) 新人交流会(C) 感染対策実技講習	栃木県新卒研修①② 救急看護 BLS AED		フィジカルアセスメント(A)	栃木県新卒研修③			栃木県新卒研修④		
卒後2年	看護チームのメンバーとして役割と責任を果たす 患者を全人的にとらえ個別的看護が実践できる	・確実な知識・技術をもとに患者状況に応じたケア方法が選択できる ・実践結果を正確に記録に残すことができる ・部署内の係、業務の役割を責任持って実践できる	卒2フォローアップ研修 チェックリスト確認 再教育が必要な項目実施			救急看護		レベルアップ研修(A)	フィジカルアセスメント(A)					
卒後3年	専門的知識・技術を持ち実践することができる 看護チームのリーダーの役割が遂行できる	・上司との連携を適切に行うことができる ・後輩が対応困難としている場合、サポートできる				まちの保健室(A)	退院調整(A)	レベルアップ研修(A)	スキンケア(A)	退院調整(A) 医療安全と事故防止(A) がん看護(A)	医療安全と事故防止(A) スキンケア(A) がん看護(A)			
卒後4年以上	プリセプターとしての役割を理解し責任を果たすことができる 専門的知識・技術を持ち実践することができる	・看護学生等の臨地実習指導ができる ・チーム内の業務調整ができる ・上司不在時に代行業務ができる ・習得した知識・技術を用いて、部署内の看護師の指導・教育が行える		看護大会(A)		感染管理 ステップ2(A)	リーダーシップ(A) 認知症看護(A)	家族看護(A)	リーダーシップ(A)	認知症看護(A)	感染管理 ステップ1(A)			
教育担当者	プリセプティとプリセプターの問題を明確にでき、問題解決においてリーダーシップを発揮できる	・適切な看護判断を行い、指導ができる ・後輩のモデル役割を果たし、効果的な指導をすることができる ・習得した知識・技術を用いて、部署内の看護師の指導・教育が行える	准実習前研修			看護継続教育(A) 看護職員実務研修(A)	実地指導者研修①(A) 職場のメンタルヘルスケア(A)	実地指導者研修②(A) 研修責任者研修①②	教育担当者研修①②	実地指導者研修③		教育担当者研修③④		
管理者	それぞれの部署を管理監督できる 部下の教育ができる	・患者の生命や人権を尊重した行動がとれる ・患者の安全性を維持するため、後輩を指導できる ・管理部署の問題点が抽出できる	コスト勉強会	コスト勉強会	コスト勉強会 病院経営改善 セミナー(C)	コスト勉強会 魅力ある職場作り(A)	医療安全管理者養成コース(A) 看護サービスにおける 経済性(A)	上司とスタッフをつなぐ主任・副看護師長 役割(A) コスト勉強会 キャリア開発(A)	看護管理(A) 看護簿社会的責任と 法的根拠(A) 医療情報の概要(A)	コスト勉強会		コスト勉強会	コスト勉強会	コスト勉強会